

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成21年秋号 VOL. 13



写真：間伐の実施により陽光が射しこむようになった奥山林
(塩谷郡塩谷町大字船生)
—とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業—



特集 平成20年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の
実績と評価結果をお知らせします

「とちもりくん」と愛称が決定しました。裏表紙もご覧ください！

森のなかまたち 第2回 森の中に住む獣 ニホンジカ



ニホンジカは、栃木県西部の山間地に生息しています。足はひょろ長いのですが、高い跳躍力を持っており、山の中を跳ねるように素早く走ることができます。昼間は森の中で過ごしており、見かけることはまれなのですが、夕方になり人通りが少なくなると、林道沿いにも餌を食べに出てきます。こちらが車に乗っている場合、警戒しながらも逃げずにいることが多く、じっくり観察できます。体の割には大きなお腹ですが、これは反芻によって植物を消化するための、4つの胃袋を持っているからです。

1 とちぎの元気な森づくり
奥山林整備事業

整備面積2,078ha
決算額 2億9,465万円
(うち国庫補助8,098万円)

手入れが行き届いていないスギ・ヒノキの人工林で間伐を行いました。
【整備例(鹿沼市)】



間伐を実施した結果、陽光が射し込むようになり元気な森になりました。

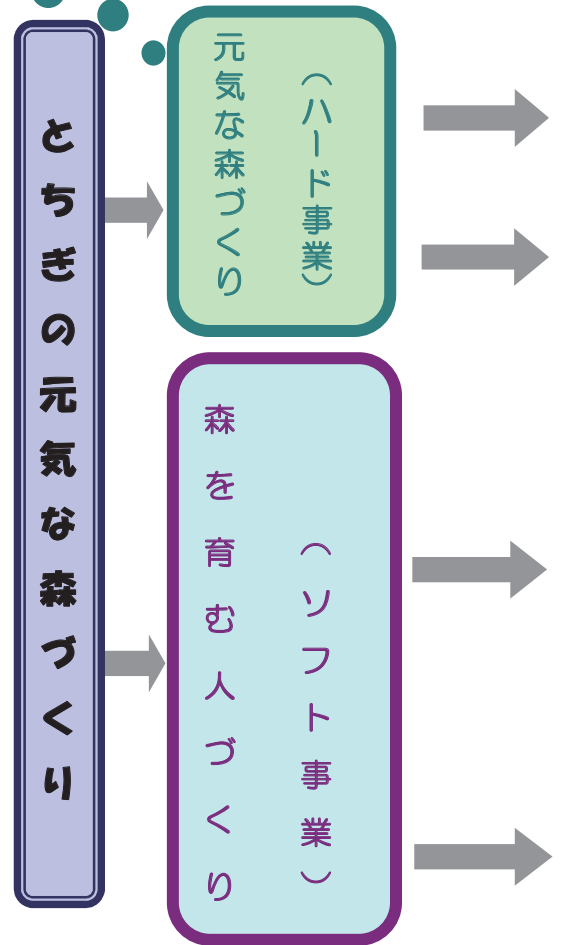
2 明るく安全な
里山林整備事業

整備面積533.3ha(全市町119箇所)
決算額 1億5,219万円

身近な里山林を、住民の憩いの場に再生したり、通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保したり、野生獣被害を軽減するために整備しました。
【通学路等の安全・安心確保のための整備例(野木町)】



暗くうっそうとした里山林を整備したことにより明るく見通しがよくなりました。



県実施 377百万円
市町実施 184百万円

平成20年度事業に対する税事業評価委員会の評価

○ すべての事業は概ね効果的、効率的に執行されているものと認められるが、一部事業においては、改善が必要な事項がある。

◆とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

今後、以下の事項について改善する必要がある。

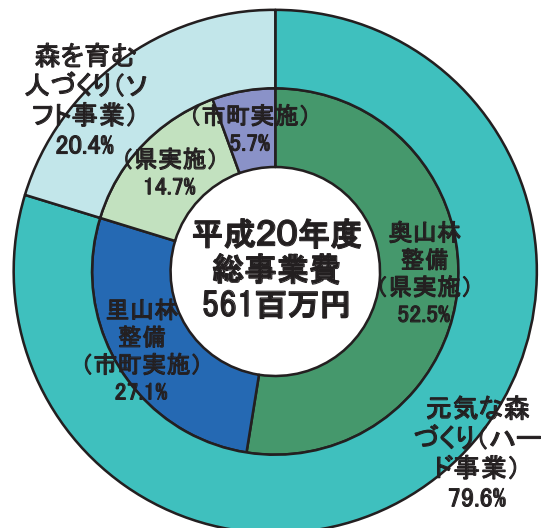
- ・ 間伐材の有効利用を図ること。
- ・ 将来の自発的森林管理を促すための作業路などの整備を進めること。

◆明るく安全な里山林整備事業

実績が計画を下回ったことから、今後、計画的かつ円滑な事業の執行に一層努める必要がある。

- また、以下の事項について改善する必要がある。
- ・ 藪の刈り払いに加え、抜き伐り等を実施し、より明るく見通しのよい里山林の整備を進めること。

平成20年度総事業費に占める各事業費の割合



※ 評価報告書全文等詳しくは、「とちぎの森づくり」ホームページでご覧いただけます。
<http://mori.ecomori-tochigi.jp/>

とちぎの森づくり

検索

ハード事業費総額 447百万円

1 とちぎの元気な森づくり 奥山林整備事業 **県が実施**

2 明るく安全な里山林整備事業 **市町が実施**

ソフト事業費総額 114百万円

3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業
 4 とちぎ森づくり情報センター事業
 5 とちぎ森の楽校（がっこう）事業
 6 森林環境学習推進事業
 7 とちぎの元気な森づくり県民会議事業
 8 税事業評価委員会事業
 9 とちぎの元気な森づくり県民広報事業 **県が実施**

10 みんなの元気な森づくり支援事業
 11 森林環境学習支援事業
 12 木の香る環境づくり支援事業 **市町が実施**

10 みんなの元気な森づくり支援事業 **決算額 303万円**

市や町が行う、住民やボランティアを対象とした森づくり活動などを支援しました。（8市町16団体）



11 森林環境学習支援事業 **決算額 333万円**

子どもたちを対象とした地域での自然観察会や森づくり体験活動など10市町の20活動を支援しました。

12 木の香る環境づくり支援事業 **決算額 2,553万円**

公共施設等の木造・木質化（3施設）や8市町での地域における木の良さ普及啓発活動などを支援しました。

3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業 **決算額 4,656万円**

奥山林整備事業で発生した間伐材を活用した学習用机・いす1,800セットを12市町・37校の小中学校に配布しました。



4 とちぎ森づくり情報センター事業 **決算額 1,154万円**

「とちぎの森づくり」ホームページを開設するとともに、「とちぎ森づくり情報センター」を設置し、森林ボランティア会員などへの情報提供や、森づくり活動のための貸出機材の購入、森づくりグループ交流会の開催などを行いました。

5 とちぎ森の楽校（がっこう）事業 **決算額 518万円**

森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図る体験講座14講座（16回）を開催しました。

6 森林環境学習推進事業 **決算額 452万円**

24団体の森林環境学習に助成を行い、指導者研修、緑の少年団交流活動「とちぎ森の子サミット」を開催しました。



7 とちぎの元気な森づくり県民会議事業 **決算額 531万円**



「とちぎの元気な森づくり」の推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」において、元気な森づくりの日（10月16日）の制定、下流域都県民の参加・協力による森づくり活動、木の教育資材の開発・提供、子どもたちの木工工作コンクール、とちぎの元気な森づくりシンボルマークの募集・選定、森づくりニュースの配信などの活動を実施しました。

8 税事業 評価委員会事業 **決算額 74万円**

委員会を5回（うち現地調査1回）開催し、税事業の評価を行うための手法等を決定しました。

7 とちぎの元気な森づくり県民広報事業 **決算額 861万円**

パンフレットの作成・配布、テレビ・ラジオでの広報、新聞広告などを実施しました。

市民・事業者・行政の協働による里山の森づくり

～真岡市における将来まで守り育てる里山林整備～

現地レポート第1回となる今回は、とちぎの元気な森づくり県民税による事業（将来まで守り育てる里山林整備）を活用した、真岡市大久保地区における森づくりの取組を紹介します。



大久保地区には、北関東自動車道や鬼怒テクノ通り等の周辺開発が進む中、希少な自然が今なお残っていることから、市民・事業者・行政（真岡市）で組織する「もおか環境パートナーシップ会議」が中心となって、約4haの里山林を保全・活用していくこととしています。

平成20年度は、「もおか環境パートナーシップ会議」のほかに、市内企業から100名を超えるボランティアの皆さんが参加して藪の刈り払い作業等を行い、木漏れ日の射す明るい里山林へ甦らせることができました。

さらに当地区では、宇都宮大学名誉教授谷本丈夫氏を講師に招き「自然環境講座」を実施するなど、里山林保全に関する住民の皆さんの意識を高めることにも努めています。

今後も「もおか環境パートナーシップ会議」や地元自治会「ふれあいの森ながた」を始め、多くの市民の皆さんの協働によって、地域の誇れる貴重な里山林を将来まで大切に守り育てていきます。



活動に参加された方々のコメント

「楽しく安全に」を目標に皆が親しめる森づくりをしていきたいと思います！

～パートナーシップ会議 森づくりグループ 寺方氏 ～

投棄されたゴミの問題など苦心したことも多いが、日の射す明るい森をみると知らず知らず笑顔になります！

～ふれあいの森ながた 会長 山崎氏 ～

取材：栃木県東環境森林事務所

元気な森づくり県民会議 部会だより

木づかい推進部会

「木づかいスタッフ」養成講座を実施！

8月27日（木）、宇都宮市森林公園において、「木づかいスタッフ」養成講座を実施しました。

「木づかいスタッフ」とは、学校や地域における木工教室をボランティアでサポートする方々のことです。これまでも、当部会で小中学校に配布している木工教育資材を使用しての木工体験や「県民の日記念行事」での木工教室、学校が取り組むエコ・チャレンジ・スクール事業でのマイはしづくりなどをサポートしてきました。

当日は、34名の方に受講していただき、栃木県の森林や森林の働き、木材の性質についての講義の後、実際に子どもたちが体験する木工教育資材を使い木工工作実習を行いました。

昨年度養成された方々と合わせ、93名のスタッフがあります。指導を依頼したい場合は、「とちぎの森づくりNEWS」本号裏表紙を御覧下さい。

木を使うことが森林を守る、環境を守ることを、子どもたちに伝えたい。



森づくり推進部会

元気な森づくりの日記念森づくり体験活動を開催！



今年3月に制定された「元気な森づくりの日」（10月16日）を記念して、10月10日（土）・11日（日）に、森づくり体験活動をエコ・もりフェア2009の開催にあわせて実施しました。

10日は、宇都宮市のみずほの自然の森公園で里山林の整備や木工教室などを、11日は、鹿沼市の生きがいの森で奥山林の間伐体験などを実施しました。2日間で5歳から82歳まで幅広い年代の45名の皆さんにご参加いただき、森づくりの大切さへの理解を深めていただきました。

参加者の声

- ☆楽しく、木や森林に関心が持てた。
- ☆森づくりへの関係者の熱意を感じた。
- ☆チェーンソーやのこぎりを使うなど貴重な体験ができ、森林整備の重要性がわかった。



森づくりトピックス

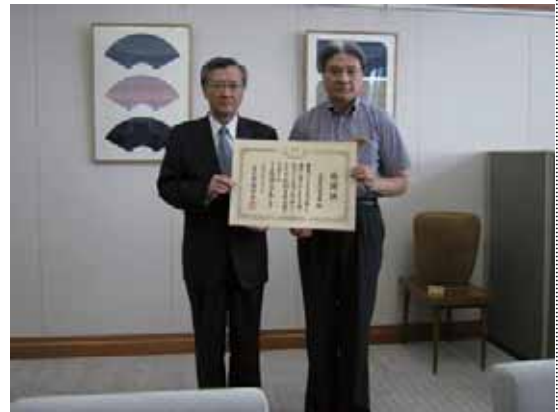
とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました！

～大田原信用金庫 エコ定期預金～

大田原信用金庫から、昨年引き続き、とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました。これは、大田原信用金庫で6月1日から8月7日まで「とちぎの元気な森づくりキャンペーン」として、エコ定期預金の募集を行い、その8月末現在の残高の0.1%に当たる199万1千円を基金に寄附するという形での協力をいただいたものです。

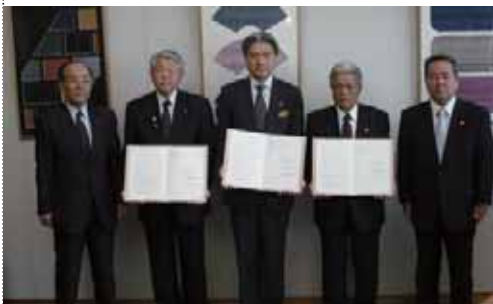
去る9月11日に、大田原信用金庫の村田理事長が県庁を訪問され、福田知事に目録を贈呈し、知事からは感謝状を贈呈いたしました。

知事は、「基金への寄附に加えて、今年もエコ定期預金という取組を通じて、『とちぎの元気な森づくり』の趣旨を地域の皆様方にPRしていただき、改めて感謝申し上げます。昨年いただいた寄附金は、今年度の取組に大いに活用させていただいており、今回いただいた寄附金もとちぎの森を元気な姿で次の世代に引き継ぐ取組に大切にに使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べました。



「森づくりに関する協定」を締結しました！

～協定締結第1号「トラックの森」～



県では、今年度から企業や団体等が、社会貢献活動の一環として行う森林整備活動を推進する、「企業等による森づくり推進事業」を開始しました。

このほど、10月7日に、協定締結第1号として、社団法人栃木県トラック協会と栃木県及び矢板市の三者で「トラックの森」づくりに関する協定を締結しました。

同協会では、森林の保護育成による地球温暖化防止を目指して、栃木県県民の森（矢板市長井）などで広葉樹の植栽や間伐、下刈りなどの活動を予定しています。

協定内容

- 期間 平成21年10月7日～平成27年3月31日
- 活動内容と実施面積 間伐1.66ha スギ14年生の間伐
植栽0.50ha コナラ・ミズナラなどの広葉樹
下刈り 植栽後5年間

力作ぞろい!

第2回子どもたちの木工工作コンクール審査結果

子どもたちの木づかい活動を広く普及するため、第2回子どもたちの木工工作コンクール（第34回全国児童・生徒木工コンクール栃木県大会）が開催され、入賞作品26点が決定しました。このうちの金賞（栃木県知事賞）作品をご紹介します。

小学校低学年の部

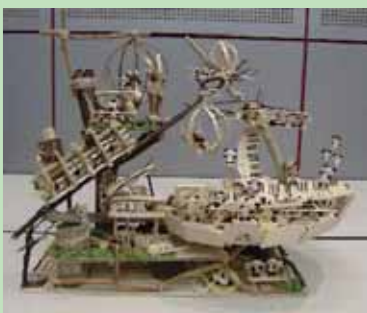
ぼくのひみつ基地



宇都宮市立中央小学校3年
橋本 尚幸さん

小学校高学年の部

夢のテーマパーク



宇都宮市立緑が丘小学校6年
村上 舞さん

中学校の部

高林牧場



那須塩原市立高林中学校2年
相馬 健太さん

「森の楽校」が開催されました!



初夏の森の観察
(6月20日：塩原温泉ビュターセカ)

県では、県民のみなさんに、森林に親しんだり、森づくり活動に気軽に参加していただくための体験講座「森の楽校」を開催しています。

講座の内容は、森林に関する興味や経験のレベルに応じ、初心者向けの「森とのふれあい講座」、森づくり作業を実践する「森づくり講座」、森づくりのリーダーを養成する「グリーンスタッフ養成講座」の3つの区分があり、年間計13講座(16回)を実施しています。

10月末までに7講座(9回)を終え、延べ180名の方に、森の観察会や下刈り活動などに参加していただきました。

参加者の募集は各講座ごとに行っておりますので、ぜひ、お気軽に御参加ください。

森の楽校予定表は県ホームページ「とちぎの森づくり」で検索してください!

小学生もがんばってくれました。



「みんなの森」の下刈り
(7月25日：県民の森)



元気な森づくり伝言板



★元気な森づくりシンボルマークの愛称が

「とちもりくん」に決まりました！★

とちぎの元気な森づくり県民会議と栃木県は、「とちぎの森づくり」に、より県民の皆さまに親しんでいただくため、とちぎの元気な森づくりシンボルマーク（平成21年3月制定）について、愛称を募集しました。

その結果、402作品の御応募をいただき、厳正な選考の結果、斎藤由子さん（矢板中学校3年生）他7名の方々から御応募いただいた「とちもりくん」を愛称と決定しました。皆さまには、とちぎの元気な森づくりのシンボルとして、永く親しんでいただきますようお願いいたします。



■愛称募集結果

- ・応募総数 402作品
- ・最優秀賞 「とちもりくん」 斎藤由子さん（矢板市在住）他7名
- ・優秀賞 「とちエコリン」 相子晋さん（佐野市在住）
「ともりん」 坂本幸恵さん（宇都宮市在住）

はじめまして、「とちもりくん」です。
とちぎの元気な森づくりのため、がんばります。
皆さん、よろしくお願いします！

★「木づかいスタッフ」がみなさんの木づかい活動をサポートします★

とちぎの元気な森を次世代に引き継ぐためには、「伐って、使って、また植えて育てる」という森林資源利用のサイクルを円滑に循環させることが大切です。

「木づかいスタッフ」は、木工工作など「木を使う体験活動」を指導し、木の良さや森づくりの大切さについて県民の皆さんに広く伝えるためのボランティアで、現在93名が活動しています。

■どんな活動をしているの？

- ・小中学校における木工工作学習の指導
- ・自治会や育成会などが実施する地域の木づかい活動の指導
（イベントや体験講座等で行う木工教室）

■指導を依頼したいときは？

- ・直接木づかいスタッフに連絡するか、とちぎの元気な森づくり県民会議木づかい推進部会（県林業振興課Tel028-623-3277）へ御連絡ください。
- ・木づかいスタッフ登録名簿は、県HPに掲載されています。（HPで公表していないスタッフもいますので、詳しくは上記にお問い合わせください。）

